



所属名	岐阜県立はなの木苑	所属長名	小森 真哉
<p><u>主目標</u></p> <p>利用者一人ひとりの個性を尊重し充実した毎日が送れるよう、個別支援計画に基づきサービス提供をするとともに、地域ニーズに応じた社会資源として開かれた施設とする。</p>			
<p><u>重点事業</u></p> <p>① 利用者の思いを大切により良い生活が送れるよう、障がい特性に応じた支援の提供ができるよう専門性の向上を図る。</p> <p>② 高齢化・重度化に応じたきめ細かい支援により、体調不良等の早期発見に努め身体機能を維持する。</p> <p>③ 施設入所サービスと短期入所・グループホーム・居宅介護等のサービスを相談支援事業を通じて、一体的に運用することにより、在宅利用者の利便性と家族の安心に繋げる。</p>			
<p><u>チーム目標（企画経営 重点目標①②）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がいの特性に応じた専門的な研修に参加し、個々のスキルの向上を図り、質の高いサービス提供を行う。 ・身体拘束、虐待防止に対する意識向上、利用者の権利擁護向上を図り、安心・安全な施設サービスを提供する。 ・虐待防止委員会、リスクマネジメント委員会を通し、職員が共通の危機管理意識を持ち、利用者に安心、安全な生活環境を提供できるようにする。 ・医務との連携を強化し、利用者の身体状況を的確に把握できるように、職員間で情報共有する。生活環境の整備に努め、利用者の健康維持を図る。 ・利用者の手厚いサービス提供ができるように、人員配置体制加算Ⅱの取得を目指す。 ・システム委員会を中心に、高齢化・重度化に応じた細かなサービスが提供できるように体制を整える。 ・経営会議にて収支状況の報告を行い、コスト意識を高める。 			
<p><u>チーム目標（男子棟・日中支援A及び女子棟・日中支援B 重点目標①②）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画作成の苑内研修を年度当初に実施し、新規職員を始めとした支援者全体のスキルアップを図り、利用者個々の特性を理解し強みを活かした個別支援を行う。 ・日課及び業務を見直し、多様な障がい特性に配慮した生活環境、支援内容を提供する。 ・高齢化に伴う心身の状況変化に留意し、健康で安全に生活が送れるよう、介護技術研修等を実施し、知識習得の機会とし成果に反映させる。 ・強度行動障がいの方の支援を充実できるよう、ケース検討会議や勉強会を実施し、障がい特性に応じた質の高い支援を提供する。 ・発達支援の一環として、理解しやすい視覚的スケジュールボードや思いを伝えるカードなどを活用しながら、障がい特性の理解に基づいた支援を行う。 			

- ・利用者の希望や思い、出来ることを取り入れ、棟活動や創作活動等を通じ生活の楽しみの場を多く提供する。
- ・一人ひとりの思いやペース、スタイルに合わせた、買い物、外食、美術展観賞、墓参り、来苑困難なご家族との面会等、個別の外出を実施する。

チーム目標（地域支援 重点目標③）

- ・共同生活援助、短期入所、日中一時支援、居宅介護等の事業を通して、地域利用者のニーズに応じていく。
- ・共同生活援助については、地域の中でその人らしい生活が送れるよう、利用者のニーズに応じた個別支援計画を作成し、家族・関係機関と連携を図りながら安心、安全な生活が送れるよう支援する。
- ・短期入所については、入所利用者の状況を踏まえながら安全な受け入れ体制を整えていく。
- ・居宅介護事業の行動援護については、個別支援計画及び手順書に沿い、統一した支援を行うことで利用者の安心、安全に繋げていく。
- ・発達障がい支援センター事業では、圏内の発達障がい児者支援の中核的な役割を担う機関となるよう、総合的、専門的に応じるワンストップ窓口として支援を提供し、関係機関と連携し発達障がい児者が暮らしやすい地域作りを目指す。
- ・相談支援事業を通して地域のニーズを把握するとともに、関係機関と連携を図りながらサービスに繋げる。
- ・地域課題を把握し、在宅障がい者が地域の中で安心した生活が送れるよう、個々のケースに対する対応や障がい福祉サービス導入に向けた支援を行う。
- ・5市共同（6事業所）により設置する『東濃基幹相談支援センター』を地域の相談支援の中核を担えるよう連携の強化を図る。

※チーム目標の（ ）内には、「重点事業の①」などと、関連する事業名を記載すること。